

総務くらし建設委員会会議録

開 会 日	令和5年5月11日（木）午後5時05分
閉 会 日	令和5年5月11日（木）午後6時08分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 野村 弘 副委員長 さとうゆみ 委 員 川合ともゆき ささせ順子 田崎あきひさ にしだ亮太 水野勝康 山田かずひこ わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件 のため出 席した者 の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 加藤英之 次長（行政、財政担当） 福岡隆也 次長（市民、税務、収納担当） 近藤泰介 財政課長 井上隆雄 課長補佐 浅井紳一郎 市民課長 北川考志 課長補佐 小田 豊 税務課長 南谷 学 市民税係長 芳賀拓己 資産税係長 青山祐司 くらし文化部長 門前 健 次長 高木昭信 安心安全課長 久保田直也 課長補佐 山際裕行 交通防犯係長 水野高志 都市計画課長 吉田 学 課長補佐 山崎暢之 建築係長 日置桂敬

計 19 人

職務のため出席した者の職氏名	議長 岡崎つよし 議会事務局長 横地賢一 主任 浅井良和
会議録	別紙のとおり

別紙

臨時委員長 開会宣言
委員会に関する条例第7条第2項により年長者である私、わたなべさつ子が委員長選任まで臨時で委員長の職を努める。

委員長選任

臨時委員長 委員長の選任は指名推選とし、臨時委員長が指名してよいか。
＜異議なし＞

臨時委員長 異議なしと認める。委員長には野村 弘委員を指名する。ただいま指名した委員を委員長の当選人と認めてよいか。
＜異議なし＞

臨時委員長 異議なしと認める。委員長が選任されたため交代する。

副委員長選任

委員長 副委員長の選任は指名推選とし、委員長が指名してよいか。
＜異議なし＞

委員長 異議なしと認める。副委員長にはさとうゆみ委員を指名する。ただいま指名した委員を副委員長の当選人と認めてよいか。
＜異議なし＞

委員長 異議なしと認める。

議長 あいさつ
市長 あいさつ

承認第2号 長久手市税条例の一部を改正する条例について

税務課長 承認第2号について説明

山田委員 議案質疑では、修繕工事をしたマンションの把握は納税者からの申告で把握するとのことであったが、管理組合があるマンションで修繕工事をした場合、まず管理組合から申告をして、その後納税者からの申告を受けて把握するのか。

税務課長 大規模マンションでは、修繕計画を作った上で管理組合から市に申告して、条件に合致した場合は市で認定する。工事終了後、市に管理組合からまとめて申請書を提出すると翌年度の固定資産税が減額される。

山田委員 何年間減額の適用を受けられるのか。

税務課長 工事完了の翌年度のみである。

田崎委員 減額割合は6分の1から2分の1の間で市が決めるとのことだが、今回決めた割合にした理由は何か。

税務課長 国が参酌基準として、3分の1と示している。県内の状況を確認したところ、ほとんどの自治体で減額割合を3分の1にするとのことだった

ため、今回減額割合を3分の1で提案した。

田崎委員 自治体により補助金を実施するビジョンはあるか。

税務課長 特になし。

さとう委員 マンションの管理組合が自分で修繕計画を立てている場合は対象にならないのか。

税務課長 積立金をあげないと減額の対象にならない。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

承認第3号 長久手市都市計画税条例の一部を改正する条例について

税務課長 承認第3号について説明

質疑及び意見なし

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

議案第32号 長久手市印鑑条例の一部を改正する条例について

市民課長 議案第32号について説明

さとう委員 コンビニ交付では住民票等の交付も行っているが、条例改正等の必要はないのか。

市民課長 住民票等は、住民基本台帳法に基づき交付されているので、市の条例等の改正は必要ない。印鑑登録については、それぞれの自治体の条例に基づき、登録、証明書の交付されているので、各自治体で条例改正が必要になる。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

議案第 33 号 小型バスの買入れについて

安心安全課長 議案第 33 号について説明

山田委員 今後購入する車種はどうしていくか。

安心安全課長 モーターで駆動する車種を初めて導入するので、今後近隣市町の取り組みや技術開発の状況を踏まえながら考えていきたい。

山田委員 市内を一周したくなるようなジブリなどのラッピングをしないか。

安心安全課長 現在のラッピングは、市の巡回バスとして認知されてきたカラーリングである。ただ、初めて導入する電気自動車なので、これからのN-バスとしてふさわしいものを考えていきたい。

山田委員 災害時の電源供給源として、外部電源はとれるのか。

安心安全課長 災害時における外部電源としての活用については、現在研究中であり、具体的に外部給電装置を整備することなどは考えていない。活用にあたっては運行事業者との協議が必要になると認識している。

水野委員 新型車両を導入することになるが、運行事業者がこのタイプの車両整備から撤退しないと確約を取っているか。

安心安全課長 運行事業者である名鉄バス株式会社からは、環境に配慮し、自社路線を電気バスに切り替えていくことも検討していると聞いている。また、電気自動車の国内シェアはビーワイディージャパン株式会社が7割を占めていること、運行事業者の施設内に急速充電設備の整備を進めていることもあり、書面での確約は取っていないが、お互い協力していけると考えている。

にしだ委員 電気バスは、走行音が静かであり、子供が飛び出してくる可能性もあると考えている。この車両に自動ブレーキは装備されているか。

安心安全課長 把握していないが、装備されている機能を利用して安全に運行していきたい。

田崎委員 この車両は、どのようなルートを走ることになるのか。

安心安全課長 運行事業者がこの車両について研究しているところである。その結果を踏まえて、運行事業者と協議しながら、一番よい形で運行していくこ

とになる。

田崎委員 グリーンスローモビリティのような運行をするのか。

安心安全課長 通常運行の車両としての導入を考えている。

田崎委員 A I オンデマンド交通との折り合いをどのようにつけていくか。

くらし文化部長

ゼロカーボンシティ宣言をいち早く形にする必要があると考え、環境に優しい移動手段となる電気バスを購入することとした。A I オンデマンド交通については、近隣市町の状況を見つつ、公共交通会議などに諮りながら議論を進めていきたい。

田崎委員 日野自動車株式会社が、ビーワイディージャパン株式会社からのO E Mとして発売を予定していた「日野ポンチョZ EV」の発売が凍結された理由をどのように分析しているか。

安心安全課長 詳細な理由は把握していないが、自社でのE Vの研究も続けていると聞いている。

田崎委員 随意契約となり競争の原理が働かないが、どのように考えているか。

安心安全課長 契約額の約8割が車両本体価格である。本市に提示された額と他市町の購入実績とを比較し、車両本体価格に大きな差がないことが確認できたので適正価格であると考えている。

田崎委員 費用対効果はどのように考えているか。

安心安全課長 駆動方式がエンジンからモーターになり、部品数が少なくなるので、その部分のランニングコストは抑えられると考えられる。

田崎委員 駆動する電気には、再生可能エネルギーを使うのか。

安心安全課長 再生可能エネルギーは使わない。

ささせ委員 現在導入している日野ポンチョよりも乗車定員が多くなっているが、市内の細い道路でも走ることはできるのか。

安心安全課長 現在の車種と比べ、サイズに大きな差はないので、現行路線では問題なく走行できるが、それ以上の狭い道路を走れるのかどうかは把握していない。

さとう委員 現在導入している日野ポンチョより約1,300万円購入価格が高い。以前は、宝くじの助成を受けていたと思うが、今回はどうなるか。

安心安全課長 今回も一番条件のよい宝くじ助成金1,000万円の交付決定を受けている。

さとう委員 ナンバープレートの番号はどうなるのか。

課長補佐 車両の導入順で201、202と連番になっており、令和3年度に購入した車両は206となっている。番号を選ぶことはできるが、今後どうするかは検討していく。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

委員長 委員長報告は委員長と副委員長への一任を確認。

委員長 閉会宣言

午後6時08分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和5年5月11日

総務くらし建設委員会委員長 野村 弘